管機連Daily News

2026年11月13日（金）

≪　今日の主なニュース　≫

～　日経ニュースなどを中心に抜粋　～

◆7～9月の実質GDP、年率0.11%増予測　日経センターまとめ

・日本経済研究センターがまとめた民間エコノミストの経済見通し「ESPフォーキャスト調査」によると7～9月期の実質GDPの予測平均は、前期比年率で0.11%増。前回の10月調査から0.03ポイント上振れ。内閣府は16日に7～9月期のGDPを公表。個人消費が前期比0.11%減と、前回調査の0.04%増から下方修正。設備投資は1.36%増、輸出は0.28%増。

◆地銀・信金を事業再生の専門集団に　倒産増加に備え、金融庁が後押し

・金融庁は地域金融機関による取引先企業の事業再生を後押しするため、体制づくりを支援する取り組みを始める。民間コンサルティング会社などの専門家を地方銀行などに派遣し、行内の組織立ち上げから定着まで伴走。取引先の倒産増加が見込まれることから対応が必要と判断した。27年度の事業開始を目指す。

◆政府・与党、税優遇3件廃止へ　結婚・子育ての贈与税非課税など

・政府・与党は2027年度の税制改正で、減税などの優遇措置を3件廃止する方針。結婚・子育ての資金を子や孫に一括で渡す際に認める贈与税の優遇などが対象に。高市早苗政権は「日本版DOGE」を掲げて、政策効果の乏しい減税や補助金の見直しを進めている。減税などの税優遇は年末までの与党税制調査会の議論で正式に存廃を決める。

≪　業界ニュース　≫

～　日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋　～

◆経済安保の重要物資、老朽生産設備の国有化検討　化学・鋳造品など

・経済産業省は経済安全保障の観点で重要な化学品や鋳造品などの民間設備を国有化する制度の検討に入った。資金力の乏しい1社に供給を依存するような場合に老朽設備を取得して国費で更新。輸出規制を強める中国を念頭に国内の生産基盤を保つ。2027年春にも改定する政府の経済安保の行動計画に明記し、法制度に落とし込む。

◆温暖化対策日本は58位　ドイツのシンクタンク、化石燃料補助を批判

・ドイツの環境シンクタンク「ジャーマンウオッチ」は世界の65カ国・地域の地球温暖化対策のランキングを公表。日本は100点満点で42.88点の58位となり、昨年より順位が1つ下がった。中東情勢悪化によるガソリン価格上昇を抑えるための政府の補助金など化石燃料利用への支援を批判し、最下位グループに位置付けた。

◆10月建築費指数　木造住宅は前月比横ばい　前年比6.5%増

・建設物価調査会が公表した2026年10月分の「建設物価建築費指数」によると、工事原価で見た木造住宅の建築費指数は153.4となり、前月比で横ばい（0.0%増）。前年同月比では6.5%（9.3ポイント）上昇。純工事費から見た木造住宅の建築費指数は155.4、前月比で横ばい（0.0%増）。プラス要因となった細目は「衛生配管」（+0.01）、「衛生機器」（+0.01）。

≪　注目商品　≫

■静音設計＋高出力電池のインパクトドライバ

・HiKOKIから「コードレス静音インパクトドライバ WHP12DB」を発売した作業音を70dBに抑える静音設計により、住宅街や室内での締付け作業に対応。タブレスセル電池の採用により従来と比べて約1.4倍の最大出力を実現し、約30分の急速充電を可能に。



■シャープ、プラズマクラスター空気清浄機「Purefit」

・さまざまなシーンに"フィット"する「運転音」「サイズ」「空気清浄性能」を兼ね備えたプラズマクラスター空気清浄機「Purefit（ピュアフィット）」シリーズのリビング向け新製品を発売。左右両側から空気を取り入れる「Wフィルター構造」を採用し、広い吸い込み面積を確保。



■ミラタップ　メイクに適したコンパクトなミラーキャビネット

・LED照明と収納を一体化したコンパクトなミラーキャビネット「ロイナ」を発売。顔を明るく照らす前面発光LEDと、化粧小物をすっきりと隠せるキャビネット収納を一体化。ミラーを囲むように配置されたLED照明が正面から顔全体を均一に照らす。

